

この時計は、120本の計測タイムをメモリー（記憶）し、呼び出すことができます。また、メモリーが120本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリーできます。クロノグラフ機能で測定した結果から、リコール機能を使いベストラップタイム・平均ラップタイムを呼び出し、メモリー力ができる本格派ランナーズ向けスポーツウォッチです。

さらに、アラーム時刻設定が2つできる2チャンネルアラーム機能、タイマー時間設定が2つできるダブルタイマー機能、世界主要50都市の時刻を表示するワールドタイム機能を含む多機能のデジタル時計です。

「時刻・カレンダー機能」
 ・（年、月、日、曜日、時、分、秒、サマータイムマーク）を表示します。（年）は、時刻合わせの時のみ表示します。
 ・2001年から2050年までの05:00年間、うるう年などの月末修正がない「フルオートカレンダー」です。

「クロノグラフ機能」
 ・1/100秒単位で計測できる最大計測時間99時間59分59秒99のストップウォッチ機能です。
 ・ラップタイム、スプリットタイム、ベストタイム、平均タイムを最大120本までメモリー（記憶）することができます。
 ・メモリーが120本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリーできます。

「リコール機能」
 ・メモリーしたデータ（ラップ回数、ラップタイム、スプリットタイム）を計測後にもちろん、計測中でもチャンネル毎にリコール（呼び出す）することができます。
 ・ベストラップ表示、平均ラップ表示ができます。
 ・チャンネルごとにそれぞれ6文字までメモリー可能なメモ機能付きです。

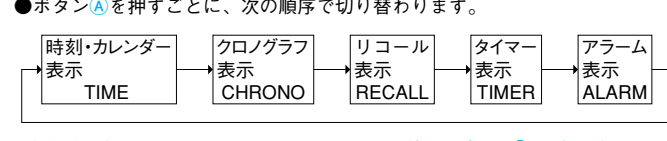
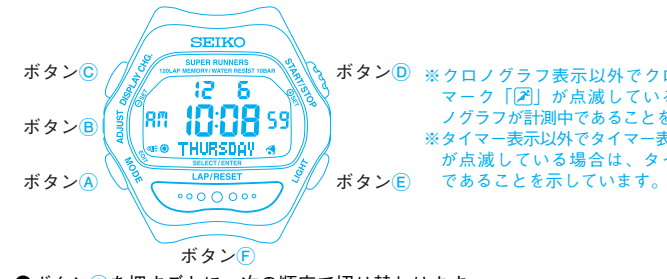
「タイマー機能」
 ・2つの設定ができるダブルタイマー機能付きです。
 ・10秒から99時間59分59秒までの1秒単位で設定可能です。タイマー計測をスタートし設定時間が経過すると、チャイムにて通知をおこない引き続きタイマー計測を自動的に続行します。
 ・リピート回数設定は、1〜100回可能です。繰り返し回数も表示します。

「アラーム機能」
 ・設定した時刻（時、分）に毎日鳴る2チャンネルのディリーアラーム機能付きです。
 ・各チャンネルでアラームのon/—（セット/解除）切り替えができます。

「ワールドタイム機能」
 ・都市名（50都市）、月、日、時刻を表示します。
 ・夏時間（サマータイム）の設定ができます。

「オートパナライト機能」
 ・あらかじめ設定する、どのボタン操作後も、約2秒間ライトが点灯します。（修正するときは、除く）

「内部照明（全面パナライト）機能」
 ・専用ボタン操作により、どのモードでも1回押しで約3秒間ライトが点灯します。
 ・物質に電圧をかけたとき光を放つ現象（エレクトロルミネッセンス＝EL）を利用した発光方式を採用しています。
 ※エレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
 【詳しくは“エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について”の項をご参照ください】



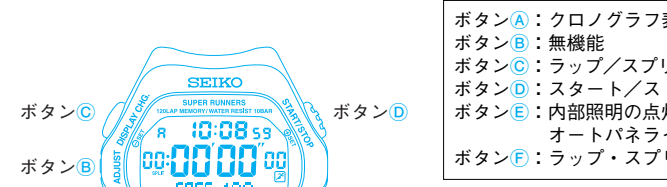
●ボタンAを押すごとに、次の順序で切り替わります。

※操作確認音がセットされていますと、表示を切り替えるごとに「ピ」ッと鳴ります。「ワールドタイム表示」から「時刻・カレンダー表示」に切り替わるところのみ音色が違います。（操作確認音については、「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。）
 ※ボタンEを押して1秒間点灯する状態では全ての表示において他のボタンが機能しません。
 ※「D. S. T.」の「on」を表示させると「マーク」が点灯し、1時間進みます。

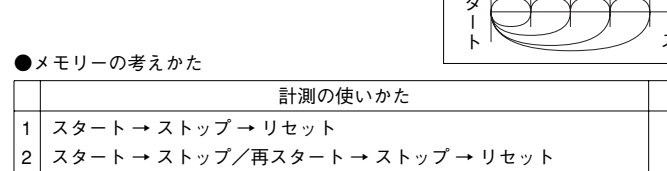
■クロノグラフの使いかた

・1/100秒単位、最大計測時間は99時間59分59秒99です。
 ・ラップタイムとスプリットタイムを同時に表示し、ベストラップタイム・平均ラップタイムをメモリー（記憶）します。
 ・この計測したラップ/スプリットタイム、およびベストラップタイム・平均ラップタイムは、リコール表示で呼び出し見ることができます。
 ※詳しくは「リコール機能の使いかた」を参照ください。
 ・最大120メモリー（記憶）できます。
 ・メモリーが120本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリーします。

(1) ボタンの名称とはたらき ●ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。



ボタンA：クロノグラフ表示の切り替え
 ボタンB：無機能
 ボタンC：ラップ/スプリット表示の切り替え
 ボタンD：スタート/ストップ
 ボタンE：内部照明の点灯
 ボタンF：オートパナライトのセット/解除
 ボタンG：ラップ/スプリット/リセット

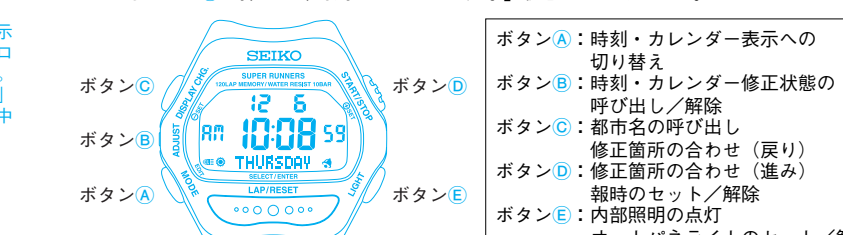


●メモリーの考えかた

計測の使いかた	メモリーの使用量
1 スタート→ストップ→リセット	3メモリー
2 スタート→ストップ/再スタート→ストップ→リセット	3メモリー
3 スタート→ラップ→ストップ→リセット	4メモリー
4 スタート→ストップ/再スタート→ラップ→ストップ→リセット	4メモリー
5 スタート→ラップ/ラップ→ストップ→リセット	5メモリー

※ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示する関係のため、1つもデータを探すと、最低3つのメモリーを使います。（1つのデータの場合は、ベストラップタイムを表示します。）
 ※ラップ/スプリット計測は、下段にラップ回数と「FULL」と表示が交互に点滅した場合は、ラップ/スプリットタイムのメモリーが満ちません。（メモリーがいっぱいになっている）意味です。リコール表示では、ラップ/スプリットタイムは呼び出すことができます。
 ※クロノグラフ機能を使用するとともに、下段に「FREE-0」と表示されている場合は、ラップ/スプリットタイムのメモリーができません。（「リコールの使いかた」を参照してください。）

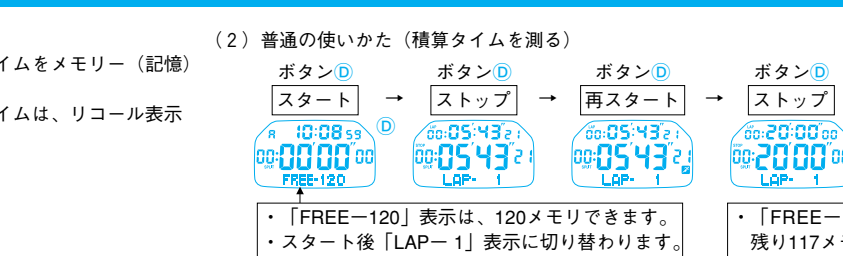
(1) ボタンの名称とはたらき ●ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。



(2) 時刻・カレンダーの合わせかた

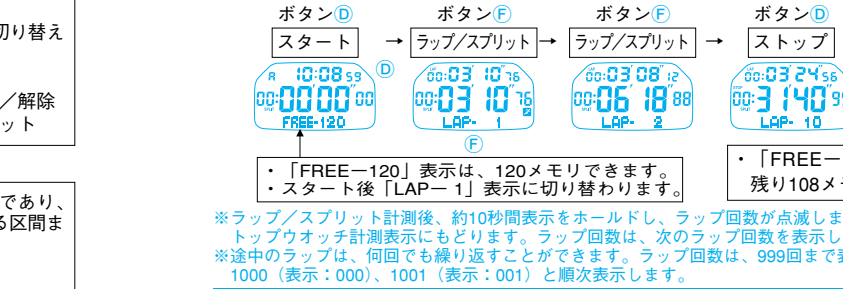
①ボタンBを1回押すと現在設定されている都市名が表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 ②ボタンEを1回押すごとに合わせたいところ（点滅）を選ぶことができます。
 ※毎日を押すと「曜日」は自動的に設定されます。
 ※都市名を「GREENWICH」以外の「D. S. T.」の「onまたは—」は表示しません。
 ※「D. S. T.」の「on」を表示させると「マーク」が点灯し、1時間進みます。

(3) 普通の使いかた（積算タイムを測る）



※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

(3) ラップ/スプリットタイムの測りかた（ラップを10回測定した場合）

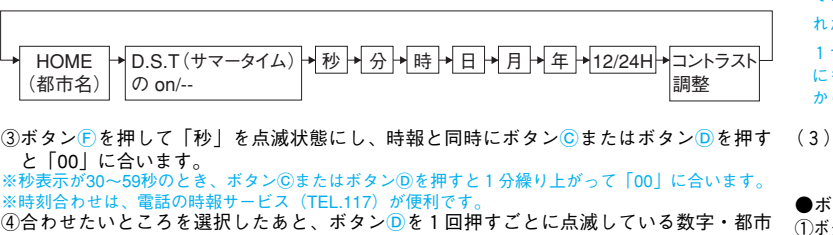


※ラップ/スプリット計測は、約10回測定した回数（ラップ）回数が点滅します。その後自動的にストップウォッチ表示にもなります。ラップ回数は、次のラップ回数を表示します。
 ※途中のストップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。以降は、「1000（表示：000）、1001（表示：001）と順次表示します。」

●リコール（呼び出し）の使いかた

・最大120メモリー（記憶）できます。
 ・120メモリー以内で測定した回数（チャンネル）を呼び出すことができます。
 ・ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示します。（1つのデータの場合は、ベストラップタイムを表示します。）
 ・測定した回数（チャンネル）ごとにメモ（最大6文字）が入力できます。
 (1) ボタンの名称とはたらき ●ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
 ※最新のチャンネルを表示します。
 ボタンA：リコール表示への切り替え
 ボタンB：文字入力/呼び出し/解除
 ボタンC：文字入力（戻り）
 ボタンD：チャンネル呼び出し/文字入力（進み）
 ボタンE：内部照明の点灯
 ボタンF：オートパナライトのセット/解除
 ボタンG：データ消去
 文字入力箇所の選択/確定

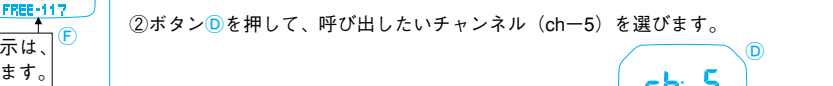
ボタンFを押すたびに修正箇所が変わります。



③ボタンEを押して「[秒]」を点滅状態にし、時報と同時にボタンCまたはボタンDを押すと「00」に合います。
 ※表示が30〜59秒のとき、ボタンDまたはボタンEを押すと1分繰り上がって「00」に合います。
 ※時刻合わせは、電話の時報サービス（TEL117）が便利です。
 ④合わせたいところを選択したあと、ボタンEを1回押すごとに点滅している数字・都市名が1つずつ進みます。（反対にボタンCを押すごとに1つずつ退きます。）（「秒」「12/24H」「D.S.T.」を除く。）
 ※ボタンDまたはボタンEを押して続けると、早速りできます。（「コントラスト調整」を除く）
 ⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンEを1回押しで修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2〜3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。
 ※カレンダーは、2001年から2050年の年、月、日、曜がプログラムされていますので、この間、月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
 ※サマータイムをセットした都市は、「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択するとサマータイム表示になります。

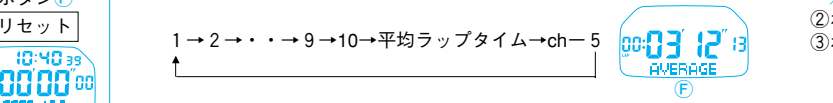
(1) リコールの使いかた

例：チャンネル5（ch-5）を見た場合
 ①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
 ②ボタンEを押して「リコール表示」にしてください。
 ※最新のチャンネルを表示します。



②ボタンDを押して、呼び出したいチャンネル（ch-5）を選びます。

③ボタンEを押して、ラップタイムの確認ができます。10回ラップタイムを探った場合、次の順序で確認できます。



※ラップタイムの中でベストラップタイムのときは、「BEST LAP」表示と「LAP-***」が交互に点滅します。

④他の測定結果を見たい場合は、ボタンDを押して見たいチャンネルを選び、(2)のように入力してください。

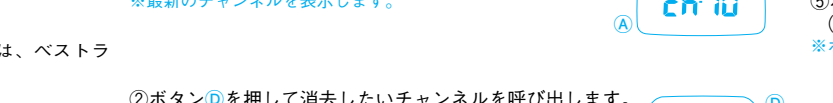
⑤「データ消去のしかた」

※クロノグラフがリセット状態であることを確認してからおこなってください。

リセット状態でない場合は「CLEAR?」表示になります

●1つのチャンネルのデータを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
 ※最新のチャンネルを表示します。



②ボタンDを押して消去したいチャンネルを呼び出します。

ボタンEを押してCLEARモード（CLEAR?）表示にします。

③入力した文字が表示したら、ボタンFで確定します。ボタンFで確定すると点滅箇所が右に移動し、次の文字の入力ができるようになります。

※入力したときは、ボタンEを押して入力した文字を点滅させて正しい文字を入力してください

④入力が終わったら、ボタンEを押して入力状態を解除して「リコール表示」にしてください。押し忘れた場合でも2〜3分後には「リコール表示」へ自動的にもどります。

・入力できる文字とこの順番
 (スペース) 0123456789/+-=/?!.,:;<> ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

④ボタンEを押すたびに、点滅箇所の文字が1つずつ進みます。（反対にボタンCを押すごとに1つずつ退きます。）
 ※ボタンCまたはボタンDを押して続けると早速りできます。

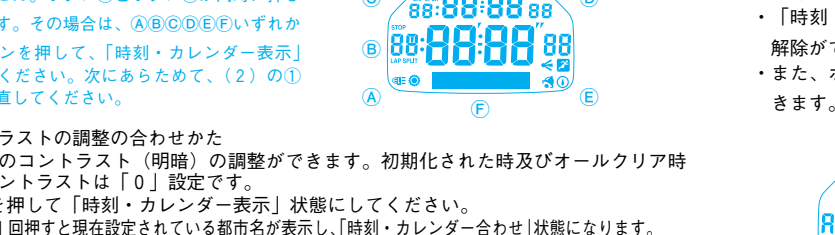
⑥入力した文字が表示したら、ボタンFで確定します。ボタンFで確定すると点滅箇所が右に移動し、次の文字の入力ができるようになります。

※入力したときは、ボタンEを押して入力した文字を点滅させて正しい文字を入力してください

④入力が終わったら、ボタンEを押して入力状態を解除して「リコール表示」にしてください。押し忘れた場合でも2〜3分後には「リコール表示」へ自動的にもどります。

・入力できる文字とこの順番
 (スペース) 0123456789/+-=/?!.,:;<> ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンDとボタンEが同時に押された状態です。その場合は、(A)(B)(C)(D)(E)いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。次にあらたてて、(2)の①から合わせ直してください。



(3) クロノグラフの調整の合わせかた

・表示のコントラスト（明確）の調整ができます。初期化された時及びオールクリア時のコントラストは「0」設定です。

●ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。

①ボタンEを1回押しと現在設定されている都市名が表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。

②ボタンEを押して、「コントラスト調整」状態にしてください。

③ボタンCまたはボタンDを押してコントラストを調整します。



④調整が終わりましたら、ボタンEを押して「時刻・カレンダー表示」にもどってください。押し忘れた場合でも2〜3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。

(4) アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除

・「時刻・カレンダー表示」でボタンDを押すごとに報時・操作確認音のセットと解除ができます。

・また、ボタンDとボタンEを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

(報時しません。)

(報時します。)

報時マーク点灯

(5) オートパナライトのセットと解除

・各モードでボタンEを2〜3秒間押し続けるごとに、オートパナライトのセット（各モードでボタンEを2〜3秒間押し続けるごとに、オートパナライトのセット「マーク点灯」）と解除（各モードでボタンEを2〜3秒間押し続けるごとに、オートパナライトのセット「マーク点灯」）ができます。

■タイマーの使いかた

・タイマー1、2とも10秒以上99時間59分59秒まで設定ができます。

・タイマー1のタイムアップ後、タイマー2がスタートする2つのタイマーを備えています。

また、タイマー2のタイムアップ後再びタイマー1がスタートするリピート（繰り返し）機能と

なっています。

・タイマー1または2のどちらかを、00時間00分00秒に合わせると普通のリピートタイマーとして使えます。

・リピート回数は、1〜100回まで設定ができます。

(1) タイマーの名称とはたらき ●ボタンAを押して「タイマー表示」にしてください。



(1) タイマーの使いかた

例：タイマー1のセットを3分、タイマー2のセットを1分、リピート回数を5回にした場合

①ボタンAを押して「タイマー表示」にしてください。

②ボタンEを押すとタイマー1の「時」が点滅表示し「タイマーセット」状態になります。ボタンEを1回押すごとに合わせたいところ（点滅）を選ぶことができます。



③合わせたいところを点滅させたらボタンDを押すごとに点滅している数字が1つ進みます。（反対にボタンCを押すごとに点滅している数字が1つ退きます。）

※ボタンDまたはボタンEを押して続けると、早速りできます。

④オートパナライトが点灯したらボタンDを押して修正状態を解除して「タイマー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2〜3分後には「タイマー表示」へ自動的にもどります。

⑤タイマー1：3分 (タイマー2：1分) (リピート回数：5回)

⑥ボタンEを押してタイマーをスタート/ストップできます。ボタンEを押してタイマーがリセットされます。

※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

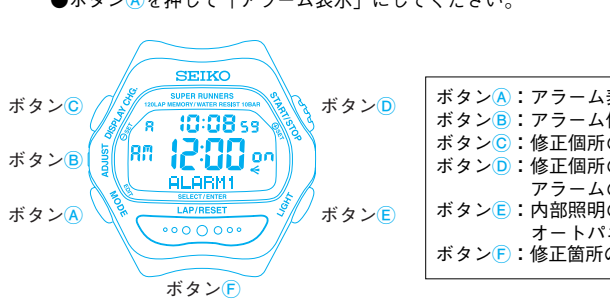
※タイムアップする3秒前に予告音があり、タイムアップする5秒間タイムアップ音が鳴ります。

※通っているタイムアップ音止むためには、(A)、(B)、(C)、(D)、(E)いずれか1つのボタンを押してください。

■アラームの使いかた

・設定した時刻（時・分）で毎日報知する2チャンネルのディリーアラーム機能付です。
 ・各チャンネルは、アラームのon/—（セット/解除）切り替えができます。

(1) ボタンの名称とはたらき ●ボタンAを押して「アラーム表示」にしてください。



ボタンA：アラーム表示への切り替え
 ボタンB：アラーム修正状態の呼び出し/解除
 ボタンC：修正箇所（戻り）の修正箇所の合わせ（進み）/解除
 ボタンD：内部照明の点灯
 ボタンE：オートパナライトのセット/解除
 ボタンF：修正箇所の選択/アラーム1/2切り替え

(2) アラームの使いかた

・2チャンネルとも、使いかたは同じです。

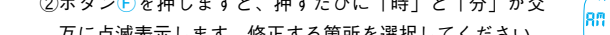
例：「アラーム1」のところで、アラーム時刻「午前6時30分」にセットする場合

①ボタンEを押して「[ALARM 1]」を呼び出します。

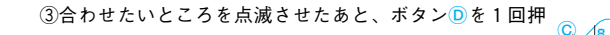
ボタンEを押すと「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。



②ボタンEを押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。



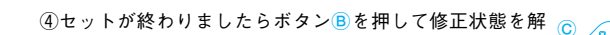
③合わせたいところを点滅させたあと、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（反対にボタンCを押すごとに1つずつ退きます。）



※ボタンCまたはボタンDを押して続けると、早速りできます。

(時：午前6時)

④セットが終わりましたらボタンDを押して修正状態を解除して「アラーム表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2〜3分後には「アラーム1表示」へ自動的にもどります。



(分：30分)

■電池についてのお願いとご注意

▲警告

- お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はだちに幼児の手が届かなくなるように保管してください。
- 万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師にご相談ください。

▲注意

- 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火いれに入れないでください。
- この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
- 常温（5℃〜35℃）からはずれた温度/下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなる場合があります。

1. 電池寿命切れ予告機能

この時計には、「電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能」が付いています。

※「時刻・カレンダー表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になります。2〜3日中に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

2. 電池について

(1) 時計寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合は、その後約3年間作動します。

※ただし、電池寿命はアラーム1日1回、EL1日2回以内、操作確認音は1日50回以内を基準としています。それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに容量が切れることがあります。

(2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがご了承ください。

(3) 電池交換

①電池交換は、必ずお買い上げ店で「純正電池」とご指定の上、ご用ください。

②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めにご交換してください。

③電池交換は、保証期間内でも有料となります。

④電池交換等で裏蓋を開閉すると当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。

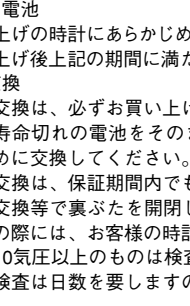
特に10気圧以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

■ワールドタイムの使いかた

・世界50都市の時刻を表示します。

・各都市（グリーンッチを除く）ごとにサマータイム（DST）の設定ができます。

(1) ボタンの名称とはたらき ●ボタンAを押して「ワールドタイム表示」にしてください。



ボタンA：ワールドタイム表示への切り替え
 ボタンB：無機能
 ボタンC：都市の選択
 ボタンD：都市の選択
 ボタンE：内部照明の点灯
 ボタンF：オートパナライトのセット/解除
 ボタンG：サマータイムのセット/解除

■ワールドタイムの使いかた

①ボタンAを押して「ワールドタイム表示」にしてください。

②ボタンCまたはボタンDを押して、都市を選択してください。

サマータイムを採用している都市は、ボタンEを押してください。

サマータイムマーク（マーク）が点灯し1時間進みます。（「サマータイムのセットのしかた」を参照ください。）

■液晶パネルについて

この時計の「液晶パネル」は、7年をすぎると、コントラストが低下したり数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けます。

※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。

電池交換しても暗くなる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けます。

■エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)について

内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。

※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。